

## 10月27日 昭和の花嫁ちようちん行列

10月27日(土)馬曲地区で昭和のちようちん行列が木島平村観光協会が中心となった実行委員会が主体となり行われました。

これは、馬曲温泉公園開湯30周年を記念して行われたもので、メインとなる花嫁花婿には、一般公募により選ばれた村内のご夫婦が選ばれ、馬曲温泉から出発した行列は、平沢・馬曲祭典団の囃子を聞きながら馬曲集落内を通り、郷の家で祝宴が行われました。観覧者には赤飯・祝い酒も振る舞われ、昔ながらの結婚式のスタイルに、大勢の観光客もカメラで撮影をしていました。



実行委員会には、馬曲区や平沢区の皆さんにも入っていただき、地域住民が一丸となって行われたイベントとなりました。

## 昭和の花嫁ちようちん行列に叔父役デビュー

横浜市(山口出身) 高木清一

10月27日、ご縁をいただいて『昭和の花嫁ちようちん行列』に花嫁の叔父役で参加いたしました。

スタッフの皆様にご協力いただき、紋付羽織袴を着せていただいた

ら、気持ちはパーンと昭和にタイムスリップ。  
『うん、俺って以外と役に入るの早いな…』と身も心も叔父役に。

他の参加者の方も全員、昭和初期の衣装・装束。

美しい叔母役の方と一緒には、ちようちん、仲人、花婿、花嫁を先頭に、親戚縁者、箆筒、長持の順に長い昭和初期の花嫁行列が出来上がりました。馬曲温泉から郷の家までそろり、そろりの歩み旅。沿道には沢山の方と数多くのカメラマン。その中を歩く訳ですから、素人にもいやが上にも役者魂が芽生え高まります。

美男美女の花婿・花嫁。そして、本当にハマり役となっておられた仲人さんのお姿。不図、周りに目をやると、眼前にせまる山並みは、紅葉が始まり、馬曲集落の景観そのものが、最高の舞台装置として出来上がって、行列は、そこに自然と溶け込み、まさに最高の『昭和の花嫁ちようちん行列』が再現されました。

途中、謡、鏡割り、祝い太鼓等もあり、動と静、見事な演出が、華やかさを盛り上げます。

郷の家では、昭和を再現した宴席も用意されるという、完璧な舞台演出。役の上とは分かっていても、花嫁にお酌をしております。したら思わず涙があふれ出てきました。

準備に携われた多勢のスタッフの皆様には大変なご苦労があったと思います。

素晴らしい大自然の恵みをただ享受するだけでなく、そこに人としてイベントを作り上げられた、今回の大企画は、大成功に終わり大変良かったと思います。

それにしても良い思い出になりました。ありがとうございました。

## 11月10日、11日 西東京市民祭りへ参加

ふるさと応援団木島平会の前石川会長、中島副会長の地元である西東京まつりへ、縁あって木島平村が出店しました。

当日は、本会役員の皆さんにもお手伝いいただき、晴天にも恵まれ、持って行ったおやきも一目で完売するなど、大盛況に終わりました。



## 11月5日 林道清水平線の閉鎖

11月5日（月）午後4時、糠千地区にある林道清水平線の入口ゲートが閉鎖されました。

カヤの平高原に通じるこのルートは、例年、冬期間は閉鎖され、来年6月上旬にはゲートが開き、通行止めが解除される予定です。

これから、本格的な冬を迎え、集落内でも冬囲いなどの冬支度が始まります。



## 木島平の思い出

千葉県市川市（中町出身） 森則子

私は上木島の中町出身ですが、今は千葉県の市川市に住んでいます。

さて、私の中学校時代の思い出をお話させていただきますが、当時、中学校に行った頃は、まだ学校が設立されたばかりでした。場所は今の学校と同じ所ですが、各学年は4クラスで、校歌にあるように本場に600人の生徒がおりました。

出来たばかりの校庭は石ころだらけだったので、端から一列に

並んで皆で石を拾い、少しでも綺麗にして足の裏が痛くないように作業をしました。また、通学路は砂利道で今の様に運動靴もなく下駄を履いて通ったのを覚えています。今の人は下駄を知らない人もいるのではないのでしょうか？

今は学校も道路も家も、田んぼもきれいになり、時々帰ると川を流れる水の音や、頬をつたわる風、空気の匂いに変らないなあと思ひ、ふる里の良さを感じます。

そんなふる里を離れて50年以上になりました。でも毎年春と秋に木島平村と姉妹都市の調布市において、いくなか交流フェスタ in 調布が開催されて小さな村の大きな太鼓で知られる「鬼島太鼓（下写真）」や村に伝わる歴史や折々の活動を発表され、遠く離れた私達をとっても楽しませて下さいます。

今年も10月13日（土）に開催され、糠千神楽保存会の獅子舞（左写真）も行われました。笛や太鼓・鈴の音はとても懐かしく、子供の頃、9月になるとどこの集落でもお祭の日が決まっています。その日の夜になると提灯や灯笼が飾られ獅子舞が行われました。笛の音が遠くから聞こえてきて心に響くものがありました。

調布市は市川市から電車で1時間と少し遠いですが、出来るかぎり出席して村の様子を知り、会場では村からの出身者の方々と顔を合わせて交流を深めるのも楽しみの一つです。お楽しみ抽選会、村の特産品がもれなく当たりこれも大変楽しみです。



糠千神楽保存会



鬼島太鼓